

点字五十音表(凸面)

左から右に読んでいきます。

■五十音

あ	い	う	え	お	点字の母音(ア行)は、五十音の基本となるものです。1,2,4の点だけで構成されています。
か	き	く	け	こ	カ行は母音に6の点を加えたもの。覚えたいかたは「かろく」と覚えるといいと思います。
さ	し	す	せ	そ	サ行は5,6の点「さごろく」
た	ち	つ	て	と	タ行は3,5の点「たさんご」
な	に	ぬ	ね	の	ナ行は3の点「なさん」
は	ひ	ふ	へ	ほ	ハ行は3,6の点「はさむ」

ま	み	む	め	も	マ行は 3,5,6 の点「まさごろう」
や		ゆ		よ	ヤ行は「あうお」を形を崩さずに一番下まで下げ、4 の点を加えます。
ら	り	る	れ	ろ	ラ行は 5 の点「らご」
わ		を		ん	「わを」は「あお」を形を崩さずに一番下まで下げるだけです。 「ん」に関しては特に法則はありませんが、「ん」に形が似ていると思えば覚えやすいでしょう。

■濁音・半濁音

濁点(゜)、半濁点(゜)は 2 マスを使って書きます。

濁点の場合は五十音の前に 5 の点を打ち、半濁点の場合は五十音の前に 6 の点を打つことによって表されます。

が	ぎ	ぐ	げ	ご

ぎ	じ	ず	ぜ	ぞ
だ	ぢ	づ	で	ど
ば	び	ぶ	べ	ぼ
ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ

■拗音

拗音も2マスを使って書きます。

拗音はまず4の点(拗音符)の後に五十音(ア列・ウ列・オ列)を書きます。

きゃ	きゅ	きょ
しゃ	しゅ	しょ

<p>ちや</p>	<p>ちゆ</p>	<p>ちよ</p>
<p>にや</p>	<p>にゆ</p>	<p>によ</p>
<p>ひや</p>	<p>ひゆ</p>	<p>ひよ</p>
<p>みや</p>	<p>みゆ</p>	<p>みよ</p>

拗音を打つ場合には、まずはその拗音のローマ字を思い浮かべてください。

例えば「きゃ きゅ きょ」の場合は「kya kyu kyo」となります。

点字の拗音は、4の点を1マス目に打ち、2マス目にはローマ字の「y」を省いた文字を打ちます。

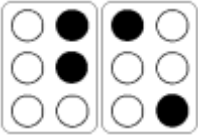
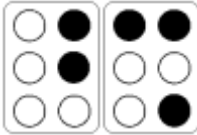
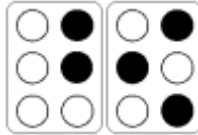
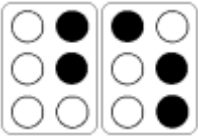
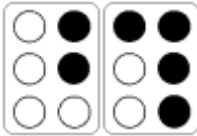
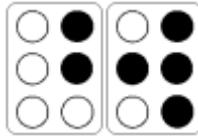
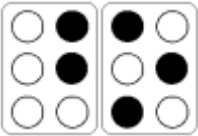
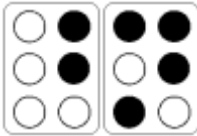
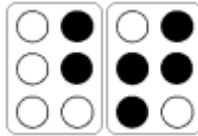
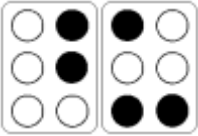
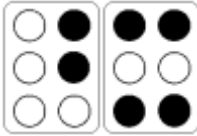
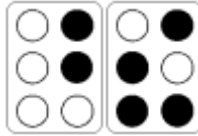
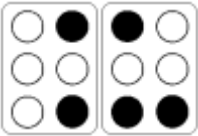
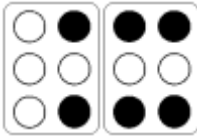
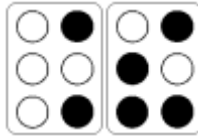
「きゃ」であれば、1マス目に4の点を打ち、2マス目には「kya」から「y」を省いた「ka(か)」を打ちます。

「きゅ」は4の点と、「kyu」から「y」を省いた「ku(く)」。

「きょ」は4の点と、「kyo」から「y」を省いた「ko(こ)」を打つことで表すことができます。

■拗濁音・拗半濁音

拗濁音・拗半濁音は1マスの中に拗音符(4の点)と濁音符(5の点)、もしくは半濁音符(6の点)を組み合わせ、2マス目に五十音(ア列・ウ列・オ列)を書きます。

<p>ぎゃ</p> 	<p>ぎゅ</p> 	<p>ぎょ</p> 
<p>じゃ</p> 	<p>じゅ</p> 	<p>じょ</p> 
<p>ちゃ</p> 	<p>ちゅ</p> 	<p>ちょ</p> 
<p>びゃ</p> 	<p>びゅ</p> 	<p>びょ</p> 
<p>ぴゃ</p> 	<p>ぴゅ</p> 	<p>ぴょ</p> 

拗濁音・拗半濁音は、拗音と同じく、ローマ字を思い浮かべて、2文字目にある「y」を省いた文字を2マス目に打ってください。

例えば「びゃ」であれば、1マス目に4,5の点を打ち、2マス目には「bya」から「y」を省いた「ba(ば)」を打ちます。

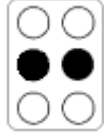
「びゅ」は4,5の点と、「byu」から「y」を省いた「bu(ぶ)」

「びょ」は4,5の点と、「byo」から「y」を省いた「bo(ぼ)」を打つことで表すことができます。

▼長音・促音

長音はのびる音「ー」のこと、促音はつまる音「っ」のことです。

長音(ー)



促音(っ)

